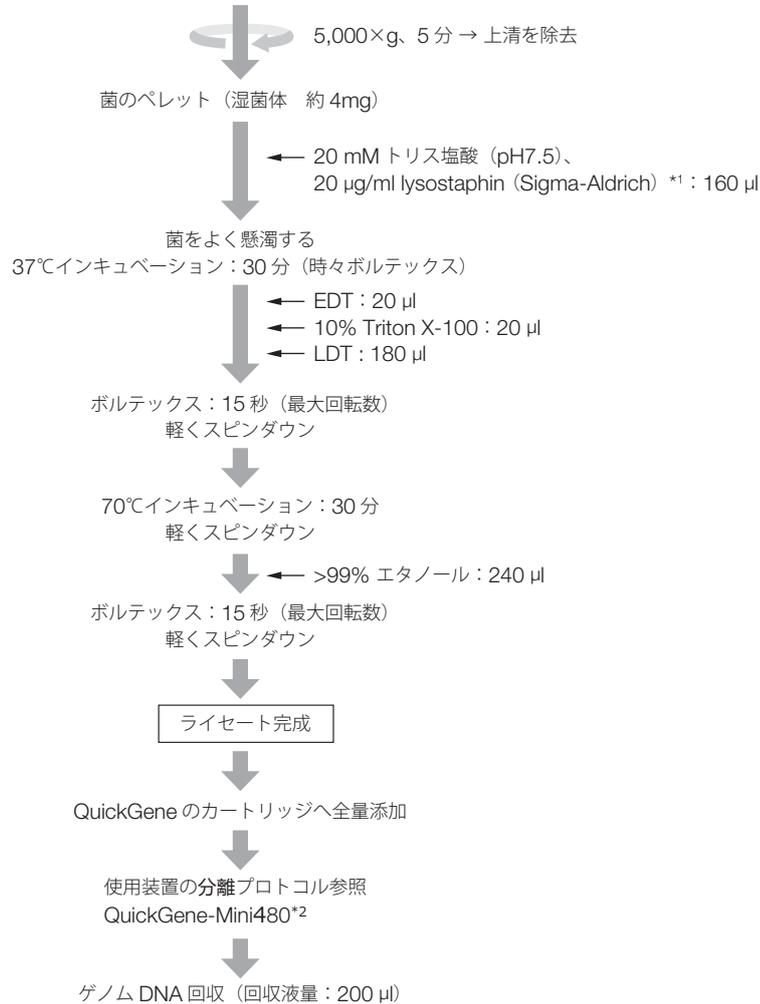


メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）からのゲノムDNA分離

■ プロトコル

培養後の液体培地、もしくは寒天培地から釣菌した菌の懸濁液



*1 *20 mM トリス塩酸（pH7.5）、
20 µg/ml lysostaphin
（Sigma-Aldrich）*はキットに含
まれておりません。
lysostaphin は使用前に添加し
てください。

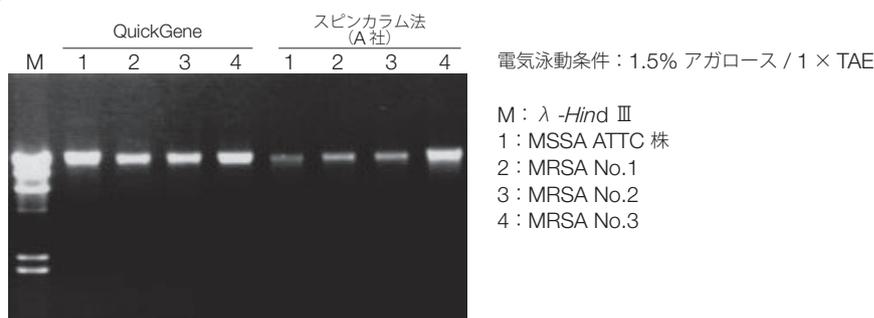
*2 本事例は旧機種で取得したデータ
も含まれます。
その他QuickGeneシリーズでもこ
のプロトコルをご参考頂けます。

■ 結果

菌株：メチシリン感受性菌（MSSA）標準株（ATCC25923）

菌株：メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）臨床分離株 No.1 ~ 3
各湿菌体 約4mg から分離

■ 電気泳動図



■ ゲノム DNA の収量

サンプル	MSSA	MRSA No.1	MRSA No.2	MRSA No.3
QuickGene	16.0 µg	14.4 µg	10.2 µg	10.3 µg
スピнкаラム法 (A社)	2.7 µg	4.6 µg	9.1 µg	12.5 µg

■ タンパク質の混入：A260/280

サンプル	MSSA	MRSA No.1	MRSA No.2	MRSA No.3
QuickGene	1.76	1.70	1.70	1.76
スピнкаラム法 (A社)	1.80	1.76	1.73	1.95

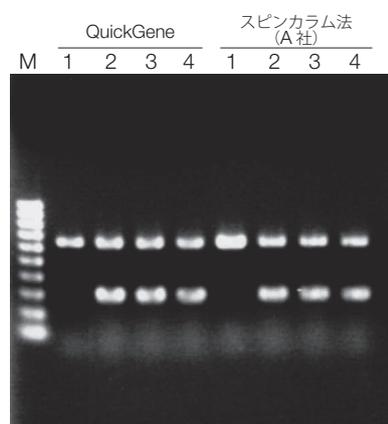
■ カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

■ その他

● PCR

QuickGene システムおよびスピнкаラム法 (A社) を用いて分離したゲノム DNA で、黄色ブドウ球菌遺伝子の *FemA* と MRSA に見られる *mecA* 遺伝子の検出を PCR 法 [Jonas, D. et al. 「Rapid PCR based Identification of Methicillin-resistant Staphylococcus aureus from Screening Swabs.」 J. Clin. Microbiol. 2002 ; 40, 1821-1823.] により行った。



電気泳動条件：2% アガロース / 1 × TAE

M : 100 bp DNA Ladder
 1 : MSSA ATC 株
 2 : MRSA No.1
 3 : MRSA No.2
 4 : MRSA No.3

MSSA (ATCC 標準株) では *femB* のみが、MRSA では *femB* と *mecA* の両方が検出された。

■ 共通プロトコルサンプル

データなし